

2年前の高尾の山の光景が眼に浮かぶ。
「ヨシッ、行こう。そうと決ったらスミオさん、早よう風呂へお入りよ。早ようビールを飲もうよ。そしてひと眠りしようよ。」
「出発は夜の10時にしようか」
心なしかニコリと鷲尾の眼線がチカリと会ってニクッと笑ったようだ。
今思うと早く降参してよかったのである。無駄な抵抗を続けていたら、一睡することもなく夜の12時まで攻めまくられ、挙げ句には出発が夜中の夜中になっていたに違いない。

夜を徹して走り続け 話し続けて、ほんのり空に明るみを感じる頃
「スミオさん もしかしてあれ富士山？」
「そうですよ。」
「羨な格好の富士山。」
「裏から見るとさ。」
へエ。なるほど。
空がほんのりと赤い。いや雲じゃない、空がほんのり赤い。そして富士山と雲は薄墨色だ。空だけが赤い。
これが赤富士だ！

「まもなく朝霧高原ですよ。もう陽が上り始めた」
ほんとした。薄墨色に長くひいた富士の裾野から、太陽がコロコロと顔を出す。
「もうじき中央高速です。東さん、日本坂トンネルで一時間渋滞したんですよ。でも朝霧に間にあってよかった。」
どうやら何も知らずに僕は眠っていたらしい。
走行距離 479 軒 所要時間 9 時間 やがて僕たちは朝のロープウェイで山へ登って行ったのである。



片道 5,000 円のカソリン代か、クルマの旅も悪くねえなあ。夜通しのおしゃべりも格別じゃ。

高尾の山での^来出参。これは報告を止めておこう。その方がいい。第一損だもんね。
三重から出席したのは僅かに3人、でもみんな箔を付けて帰ってきた。たしかになんだか自分が少し偉くなって帰ってきたような気がする。夏期講座に一度出席すると JRP 歴 1 年の人でももう3年も JRP やっているような気になれるんだなあ。

三重支部で謹厳な紳士は 柳生さんと僕くらいのものである。あとの連中はよその支部の女性会員に サービスこねてくれたことぐらいは報告しておこう。
特に陸の字と鷲尾の西名は、ニコニコと肩の指圧をしたり、手相を見たり、「アツク独身？ ああよかった。これは再婚の相ですよ。もし結婚していたらねえ」とかなんとかしゃあしゃあとしていた。チクシヨウ、あれはけしからん。早速 柳原教祖に報告せにやならん。

「かくしてよオ、早くウ。気持悪い。でも一応はいるのね。もっと若い男(コ)ならいいけれど。まるで火星みたいなのは誰でしょう。誰か誰を見て言ったのでしょうか。とまあ満座の中で 大声でした。あもしろかつたなあ。みんなも大笑いしたもんねア。」

ああそうそう。これは報告の義務がある。
“風展”に支部から3人の候補が出た。ご存知のように“風展”とは2年に1度だが、わか JRP が世に問う写真展である。それにノミネートされたのか 柳生、スミオ、鷲尾の3氏だった。

今後の3人の活躍を意地悪く見詰めよう。シマツ。本ネヲ書行シマツ。

高尾の山は 朝は 23℃ だった。写真裁判で 熱夏か 快いたちこめた時でも 25℃ ~ 26℃ だった。記念写真を撮った一番暑かった時で 27℃ だった。

涼しかった。
来年は 8 月 1, 2, 3 日 らしい。皆さんにはあまり薦めたくない。疲れますよ。いいことはあまりないですよ。無理することア 無いですよ。
(高尾の山は 少数こそ楽しいからオ)

一樹さんと仁さんとは「こんにろわでいっぺん。さようなら。で、へん。それだけしかもの言えなかった。高尾が一番退屈な時。それは支部の仲間と話しする時だ。ころらへ帰れば、嫌という程 顔見える。

顔と言えは 顔。思い浮かんでくる顔。
矢野 伊藤千恵さん、ヒョウ 教士 頑張っている。伊藤昭一氏の顔さだぶらなければ 惚れてしまいそう。
次にやつぱり 石橋壽子さん。夜、ふとんにシートをかけたようにしたら、いつの間にやら パツと現われて サツと敷いてくれた。彼女、旦那さんのふとんを敷いてやるかやらないか。僕は帰ってきてから それに氣に懸って しょうがない。

神山さんのアゴ 尾辻さんのヒゲ ココロと古賀さん。
いつも定着 安定 冷静の 鈴木さんの声。小倉さんのマエ 振さんの声。それから大阪東京人の 豪傑 (あの男一番後から眼を醒めた癖に 起キロ! となった時から忘れられない。朝の動行をサボって 地デブクロにかけられていた) 八王寺の 小林さん。それから 現研美人かいたのに 顔か 思いたせない。
みんな いい人で いっぱいだった。

さて僕何人のニュース。
僕は日先生に 約 2 時間の 特別を受けたのである。みんなが何この 30 畳の部屋で ガヤガヤ 勉強していた時、僕はころらの 30 畳の部屋で 一山一会を前にして 一対一の勉強だった。
僕は生まれてこのかた どのような 緊迫した 授業を経験したことはない。授業の中味は、僕は誰にも言わない。でもこの夏、暑い夏を 日が暮れる迄 撮っている僕の 噂さか、やがて 皆さんも 耳にしてくれるだろう。

これが 夏期講座だった。僕の 夏期講座の、僕自身への みやけたった。今年 は がんばりますゾ。

8 月 25 日の 例会が 近づきました。高尾の話で 記事にならなかった話も どんと あります。お眼にかかって お話 します。